



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月14日

上場会社名 株式会社カワサキ 上場取引所 東
 コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 川崎 久典
 問合せ先責任者（役職名） 管理部部长（氏名） 池田 喜章 TEL 072-439-8011
 半期報告書提出予定日 2026年4月14日 配当支払開始予定日 2026年5月13日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	1,192	3.0	279	7.8	279	8.0	182	7.8
2025年8月期中間期	1,157	5.1	259	36.3	258	32.9	169	21.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	85.45	—
2025年8月期中間期	78.70	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	7,981	5,884	73.7
2025年8月期	8,058	5,755	71.4

(参考) 自己資本 2026年8月期中間期 5,884百万円 2025年8月期 5,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	25.00		25.00	50.00
2026年8月期		25.00			
2026年8月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,233	△2.5	432	△16.1	431	△16.1	279	△17.5	130.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年8月期中間期	2,901,000株	2025年8月期	2,901,000株
2026年8月期中間期	768,260株	2025年8月期	768,260株
2026年8月期中間期	2,132,740株	2025年8月期中間期	2,148,740株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続や円安の影響による各種コストの上昇に加え、トランプ政権下における関税政策の動向による世界経済およびサプライチェーンへの影響、さらに期末にかけては米国によるイラン攻撃を契機とした中東情勢の緊迫化に伴う資源価格や為替動向への懸念が高まるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社は、既存事業の強化と収益性の向上に努め、販売施策の推進、在庫の適正化および経費コントロールの徹底を図るとともに、安定収益基盤の維持・拡充に取り組んでまいりました。

その結果、当中間会計期間の業績は売上高が1,192,033千円(前年同期比3.0%の増加)、営業利益が279,403千円(前年同期比7.8%の増加)、経常利益が279,230千円(前年同期比8.0%の増加)、中間純利益182,247千円(前年同期比7.8%の増加)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、消費者の節約志向が継続するなか、販促施策の強化、商品構成の見直しおよび在庫の適正化に取り組んでまいりました。円安の影響に加え、中東情勢の緊迫化に伴う物流費・仕入コスト上昇への懸念など、先行き不透明な事業環境が続きましたが、主力商品の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は302,915千円(前年同期比3.5%の増加)、営業利益は3,726千円(前年同期比162.0%の増加)となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、安定した賃料収入の確保を基本に、既存物件の高稼働率の維持およびテナント対応の充実に努めてまいりました。エネルギー価格上昇への懸念などがみられたものの、既存物件が堅調に推移したこと等により、売上高は695,559千円(前年同期比0.9%の増加)、営業利益は297,604千円(前年同期比5.3%の増加)となりました。

(ホテル事業)

当事業部門におきましては、万博開催に伴う観光客の増加等を背景に宿泊単価が上昇したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復に伴い、宴会需要が持ち直したこと等により業績は改善しております。その結果、売上高は193,558千円(前年同期比10.3%の増加)、営業損失は21,927千円(前年同期は24,917千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて60,634千円(5.3%)増加し、1,196,867千円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が11,283千円増加し、商品及び製品が96,193千円増加したものの、その他が55,207千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて137,953千円(2.0%)減少し、6,784,382千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が123,861千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて77,644千円(10.5%)減少し、661,519千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が20,707千円減少し、その他が61,020千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて128,602千円(8.2%)減少し、1,435,291千円となりました。この主な要因は、長期借入金123,300千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて128,928千円(2.2%)増加し、5,884,439千円となりました。この主な要因は、中間純利益を182,247千円計上したものの、配当による減少53,318千円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて9,079千円(1.4%)増加し、668,430千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前中間純利益279,230千円、減価償却費151,924千円、棚卸資産の増加額95,522千円等により、当中間会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは214,533千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出16,202千円があったことにより、当中間会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは16,202千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出135,960千円、配当金の支払額53,318千円により、当中間会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは189,278千円の支出となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年10月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当中間会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	659,350	668,430
受取手形、売掛金及び契約資産	52,863	64,146
商品及び製品	276,037	372,231
原材料及び貯蔵品	32,105	31,434
その他	116,074	60,867
貸倒引当金	△199	△242
流動資産合計	1,136,232	1,196,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,693,192	3,569,331
機械装置及び運搬具(純額)	163,627	160,682
土地	2,571,366	2,571,366
その他(純額)	37,277	30,502
有形固定資産合計	6,465,463	6,331,883
無形固定資産	14,885	12,743
投資その他の資産	441,987	439,755
固定資産合計	6,922,335	6,784,382
資産合計	8,058,568	7,981,249

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当中間会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,503	27,253
1年内返済予定の長期借入金	284,580	271,920
未払法人税等	126,161	105,454
賞与引当金	1,277	1,270
その他	316,641	255,620
流動負債合計	739,163	661,519
固定負債		
長期借入金	740,720	617,420
役員退職慰労引当金	12,716	14,216
資産除去債務	450,662	452,792
その他	359,795	350,862
固定負債合計	1,563,894	1,435,291
負債合計	2,303,058	2,096,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金	1,025,937	1,025,937
利益剰余金	5,224,009	5,352,938
自己株式	△498,736	△498,736
株主資本合計	5,755,510	5,884,439
純資産合計	5,755,510	5,884,439
負債純資産合計	8,058,568	7,981,249

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	1,157,326	1,192,033
売上原価	630,884	634,388
売上総利益	526,441	557,644
販売費及び一般管理費	267,362	278,241
営業利益	259,078	279,403
営業外収益		
受取利息	54	279
受取手数料	674	350
受取家賃	600	600
為替差益	-	154
その他	1,060	1,174
営業外収益合計	2,389	2,558
営業外費用		
支払利息	2,868	2,726
為替差損	33	-
その他	0	5
営業外費用合計	2,901	2,731
経常利益	258,565	279,230
税引前中間純利益	258,565	279,230
法人税、住民税及び事業税	100,669	105,915
法人税等調整額	△11,219	△8,932
法人税等合計	89,450	96,983
中間純利益	169,115	182,247

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	258,565	279,230
減価償却費	150,840	151,924
貸倒引当金の増減額(△は減少)	150	42
賞与引当金の増減額(△は減少)	173	△6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,500	1,500
受取利息及び受取配当金	△54	△279
支払利息	2,868	2,726
為替差損益(△は益)	33	△26
売上債権の増減額(△は増加)	△20,319	△11,283
棚卸資産の増減額(△は増加)	△65,476	△95,522
仕入債務の増減額(△は減少)	17,935	16,749
その他	△1,063	△1,463
小計	345,154	343,592
利息及び配当金の受取額	54	279
利息の支払額	△3,274	△2,714
法人税等の支払額	△102,848	△126,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	239,085	214,533
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,101	△16,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,101	△16,202
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△148,620	△135,960
配当金の支払額	△60,164	△53,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208,784	△189,278
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,165	9,079
現金及び現金同等物の期首残高	570,344	659,350
現金及び現金同等物の中間期末残高	586,510	668,430

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			中間損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫事業	ホテル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	292,539	689,285	175,501	1,157,326
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	292,539	689,285	175,501	1,157,326
セグメント利益又は 損失(△)	1,422	282,573	△24,917	259,078

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間会計期間(自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			中間損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫事業	ホテル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	302,915	695,559	193,558	1,192,033
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	302,915	695,559	193,558	1,192,033
セグメント利益又は 損失(△)	3,726	297,604	△21,927	279,403

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。